

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4079600245		
法人名	医療法人 古川病院		
事業所名	グループホーム 永井の里		
所在地 (電話番号)	〒827-0003 田川郡川崎町大字川崎4427 (電話) 0947-72-8201		
評価機関名	財団法人 福岡県メディカルセンター		
所在地	福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号		
訪問調査日	平成21年2月25日	評価確定日	平成21年4月2日

【情報提供票より】(H21年1月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 8 人, 非常勤 7 人, 常勤換算	11.2 人

(2) 建物概要

建物形態	併設 / <u>単独</u>		新築 / 改築
建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有 (円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<u>有</u> (300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 <u>無</u>	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,350 円		

(4) 利用者の概要 (1月 31 日現在)

利用者人数	15 名	男性	3 名	女性	12 名
要介護1	7 名	要介護2	1 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	74 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	古川病院、社会保険田川病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体である医療機関との医療連携体制が確保され、安心して生活出来るホームである。緊急時の対応や看取りにおいても協力体制ができているため、職員も安心して働くことができています。実際に看取りを経験しており自信となっている。関係者を始め管理者・職員共に運営理念に基づきながらケアに取り組んでおり、チームワークよく常に質の向上に努める勤勉な姿勢がうかがえる。又、栄養管理や水分補給にも力を入れ、充実した健康管理に努めている。ホームには、防火管理者も置かれ防火活動体制が充実している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善計画シートが作成され、課題の改善に向けた取り組みができており、質の向上に努める姿勢がみられる。家族等の意見を反映するために年3回もアンケートが行われ、便りにて結果や意見が報告できている。重度化や終末期に向けた方針においてもマニュアル作成ができており、さらなる改善も試みられている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価の結果を受け止め、全職員でさらなる質の向上に努めた上で自己評価に取り組む姿勢がみられる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>外部評価の結果を踏まえ、母体病院長も加えて改善計画を作成し、会議にて報告している。又、区の行事への参加や自治会への加入の意思を伝えており、交渉中の段階である。徘徊時や災害時の協力体制については制限があるが取り組みはできている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</p> <p>母体である病院に苦情の申し立てができる仕組みとなっており、意見を出しやすい工夫がされている。又、アンケートにより家族の要望や満足度の把握ができ、課題を検討し質の向上を目指す取り組みができています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>行政主催の行事である文化祭や敬老会に参加している。又、地区の小・中学校との交流で花をもらったり、コンサートへ参加したりしている。地区のカラオケ同好会との交流も継続できている。行政区の都合で区の自治会や敬老会の参加、又、職員による地域活動の参加はできていないが、以前より参加の意思を伝え交渉を継続している。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を認識し、わかりやすく事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月2回の全体ミーティングで、母体病院長を始め職員間で理念について話し合いの機会を持ち、意識付けがされている。日々掲示してある理念を念頭において接するように心がけている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議を通して地区の自治会・老人会に加入の意思は伝えているが、受け入れ困難な状況である。行政主催の行事や地域の小・中学校との交流は出来ている。又、地区のカラオケ同好会との交流もある。		今後も、運営推進会議を通して地区の自治会・老人会・行事等、地域活動に参加する意思を継続して伝えていくことが望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で行い、外部評価の結果はミーティングで報告し全職員に周知出来ている。外部評価の結果を踏まえ、母体病院長を始め全職員で改善計画を作成し取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価の結果を報告し、改善策についても検討している。行政区の行事や活動に参加ができるよう連携を図っている。徘徊時や災害時の地域の協力体制について働きかけを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要時要望があれば行き来しており、パンフレット等の設置を依頼している。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員間で勉強会を行い、理解を深めるようにしている。社協のパンフレットを取りよせ、閲覧できる場所に設置している。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に「里便り」の発行を行い、状況報告を行っている。又、来訪時にも状況報告し遠方の方にも電話で対応している。ホームの行事にも一緒に参加が出来るように取り組んでいる。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	母体である病院の方に苦情相談受付を設置し、意見を表しやすくする工夫をしている。又、新たに年3回の家族アンケートにより意見を拾い上げる工夫を持ち、サービスの質の向上に努めている。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	できるだけ離職のないよう話し合いを持っている。離職や新規採用時は、便りで紹介を行っている。新規採用者において、全職員の協力があり、早期になじみの関係作りができるよう支援している。		離職する場合を想定し、普段からダメージを防ぐ取り組みを検討していくことも望まれる。
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	法人代表者及び管理者は、採用にあたり特に制限を設けておらず、高齢者に対し人生の先輩として尊敬する心を持つ人や意欲のある方を対象としている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	管理者は、人権教育の研修に参加しミーティング時に啓発に努めている。		
13	21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修を計画し実施しており、段階に応じた研修参加が来ている。勤務ローテーションを工夫し協力出来る体制を図っている。研修内容も記録簿により全職員が閲覧できる。		
14	22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	医師会主催の田川臨床認知症研究会主催の講演会に出席し、質の向上に努めている。又、個人的なつながりで情報交換を行っている。ケアマネジャーは、居宅介護支援事業の研修や情報交換や意見をケアに活かしている。		同業者との交流・連携は共に学ぶ姿勢をもち、サービスの質の向上を図ることにつながる為、できればネットワーク等に加入していくことが望まれる。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にホームへ訪問してもらい、なじみの関係を築いている。本人の家具や装飾品の持ち込みをすすめ、家族の泊まりにより協力を得、安心感を持ってもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩であるという考えのもとで、料理の工夫や洗濯物のたたみ方、農作物を植える時期等教えてもらい、又、そういう場面を多く持つように工夫や声かけに配慮している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
17	35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に家族の協力を得て情報を把握しており、日々の生活の中で気づいたことなどはミーティングで共有している。意思疎通の困難な方にはご家族や関係者から情報を得られるようにしている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意向を尊重し、又、ミーティング等で職員の意見を把握し、担当者会議にて計画を立案している。3ヶ月に1回はモニタリングを行い、プランを作成している。</p>		
19	39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状態に変化があった時、又モニタリングにより変更が必要な時は、日々のミーティング等で検討し計画の見直しを行っている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>週2回母体病院の定期訪問により健康管理が出来ている。又、医療処置を受けながらの生活の継続、重度化した場合や終末期の対応も支援することが出来ている。生活においては、買い物や法事の参加等、又通院や送迎など必要な支援に柔軟に対応している。</p>		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の協力医の他、本人、ご家族の希望する以前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう通院介助を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に介護の指針で説明を行っており、希望があれば母体である医療機関の協力を得て看取りの体制を確保することが出来ている。実際に看取りを行っており自信となっている。看取りの研修参加も出来ており、マニュアルも作成している。現在さらにマニュアルの見直し中である。必要時ミーティングで話し合いを持ち、情報の共有が図られている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	2ヶ月に1度母体である病院の個人情報保護委員会に参加している。又、日々ミーティングでも職員の意識向上を図ると共に、プライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。		
24	54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、又、体調に配慮しながらその人らしい生活が送れるように支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームで作る畑作の収穫時期に、季節の食材を献立に取り入れたり、希望する料理を作ったりしている。又、下準備の出来る方には声かけを行い、一緒に準備をしている。しかし、高齢化しており、殆どの方は出来ない状態である。		高齢だからできないとあきらめず、これからも準備や片づけに対する声かけを続けていくことが望まれる。
26	59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に毎日入浴ができる体制となっており、希望や体調にあわせて各個人の入浴を支援している。又、入浴を拒否する人には、様子をみながら声かけや誘導を行い、同意を得て支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や日々の情報を基に役割や楽しみが持てる場面作りを支援している。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩、ドライブ等の希望があれば支援を行っている。天候のいい時は、庭で日光浴ができる支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、鍵をかけずブザーで対応しているが、見守りが少ない時は安全面を考慮し鍵をかけている。近所の人の見守りや声かけ、連絡してもらえ関係が築かれている。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議で地域の協力が得られるよう働きかけている。最低2人の協力体制や消防分団の協力も得られる。今後は、分団も一緒に火災訓練を行うことを検討している。年2回防火訓練を行っており、そのうち1回は、消防署と利用者、職員を交えて一緒に避難訓練を行っている。又、防火管理者も置かれ充実した防火体制となっている。今後は、火災報知器を設置する予定である。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別記録の中で1日を通じて食事や水分摂取量がチェックされており、又献立表によりバランスのよい食事の確保が出来ている。個別の状況に応じた食事作りとなっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下の天窗による光も柔らかく感じ、又、臭気もなくきれいに掃除がいきとどいている清潔感あふれるホームとなっている。季節の花や装飾品があり、季節感が十分にうかがえる工夫がある。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や使い慣れた日用品、又、お孫さんの習字等が飾られており、個人に応じた工夫のある部屋となっている。		